

別府大学文化財研究所企画シリーズ②「ヒトとモノと環境が語る」

キリシタン大名の考古学

別府大学文化財研究所・九州考古学会・大分県考古学会 編

▶ B 5 判・178頁／定価：本体3,800円（税別）
ISBN978-4-7842-1472-3

2009年初版発行、2011年より品切。2014年11月増刷いたします。

近年、大分の豊後府内の遺跡や大村氏の城館城下の遺跡、島原の原城跡などの調査が進み、いわゆるキリシタン大名やキリシタンにかかわる遺跡の発掘が進み、研究は新しい段階に入り始めている。本書は単に考古学的成果をまとめるだけではなく、領域を越えて、文献学や分析科学などの他領域の成果も融合し、新しい戦国城下論・キリシタン考古学論・流通論など、新たな研究手法を提示する。

内容目次

宣教師の活動とキリシタン大名の町

キリシタン遺跡から見たキリシタン宣教師

コラム 高槻城キリシタン墓地

巡察師ヴァリニャーノの見た豊後「府内」
——1580年の豊後国「府内」の描写——

コラム 豊後府内のキリスト教会墓地

肥前大村の成立過程

豊後府内の成立過程 ——府中から府内へ——

コラム 肥後八代・麦島城と小西行長

（五野井 隆史 聖トマス大学教授）

（高橋 公一 高槻市教育委員会）

（坂本 嘉弘 大分県教育庁埋蔵文化財センター）

（田中 裕介 大分県教育庁文化課）

（大野 安生 大村市教育委員会）

（上野 淳也 別府大学助教）

（鳥津 亮二 八代市立博物館未来の森ミュージアム）

キリシタン遺物は語る

豊後府内出土のキリシタン遺物 ——府内型メダルの再考を中心として——（後藤 晃一 大分県教育庁文化課）

コラム 博多出土のキリシタン遺物

（佐藤 一郎 福岡市教育委員会）

原城出土のキリシタン遺物

（松本 慎二 南島原市教育委員会）

コラム 天草のキリシタン遺物

（平田 豊弘 天草市教育委員会）

キリシタン考古学の可能性

（今野 春樹 寛永寺谷中徳川家近世墓所調査団）

コラム キリシタン生活を支えたメダル

（デ・ルカ・レンゾ 日本二十六聖人記念館）

南蛮貿易と金属材料

（魯禔玆 別府大学大学院文学研究科博士課程・西田京平 同左・平尾良光 別府大学教授）

コラム 石見銀山と灰吹法

（仲野 義文 石見銀山資料館）

大航海時代における東アジア世界と日本の鉛流通の意義（平尾良光・飯沼賢司 別府大学教授）

——鉛同位体比をもちいた分析科学と歴史学のコラボレーション——



思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-751-1781 fax. 075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注文票

発行：思文閣出版

（京都 取引コード 3402）

冊数	冊	キリシタン大名の考古学		本体3,800円（税別）	ISBN978-4-7842-1472-3
お名前		tel			書店番線印
		e-mail			
ご住所	〒				
送本方法	☐ 書店経由（このちらしを書店にお渡し下さい） ☐ 代 引（書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い）			本書HPのQRコード	

経筒が語る中世の世界

小田富士雄・平尾良光・飯沼賢司編

別府大学文化財研究所企画シリーズ① 「ヒトとモノと環境が語る」

- ★藤原道長の造営で知られる経塚・経筒。実は北部九州こそ、全国に先駆けて経筒の埋納が本格的に行われた地域であり、出土数でも他を圧倒している。
- ★本書はおもに九州出土の経筒をとりあげ、考古学・歴史学・美術史学に加え、分析科学などの先端機器を駆使した先駆的研究も収録。文系理系を問わず、さまざまな切り口から「経筒が語る中世の世界」をえがく。多くの研究蓄積のある九州の経塚・経筒について、分野・地域を越えた学際的な視点から再構成を試みる。
- ★2007年、別府大学文化財研究所が主催した文化財セミナーの成果をまとめた論集。

- 【内容】Ⅰ 経筒が語るヒトの交流の世界 銭は銅材料となるのか—古代～中世の銅生産・流通・信仰—/材料が語る中世—鉛同位体比測定から見た経筒—/九州出土経筒の鉛同位体比が語るもの/経筒の制作と地域性—東京国立博物館所蔵の紀年銘を有する作品を中心に—/埋経と仏像/経塚勸進僧の行動と連鎖の軌跡—同一名の追跡試論—
- Ⅱ 九州地域出土の経筒が語る世界 九州における経塚・経筒研究—研究史と課題—/肥後における経筒について/熊本県人吉・球磨地方における経筒について/肥前佐賀の経塚/大宰府における経塚経営とその背景/筑後の経塚と経筒/福岡県みやこ町出土の経筒鋳型/福岡県みやこ町勝山松田出土の経筒/大分県宇佐市妙楽寺出土経筒

▶B5判・236頁／本体4,800円 ISBN978-4-7842-1409-9

※塙仏の来た道 白鳳期仏教受容の様相

後藤宗俊著

日本では比較的限られた地域に受容され短命のうちに姿を消した塙仏が大分県宇佐市の虚空蔵寺跡でまとまって出土する。「塙仏の来た道」を丹念にたどり、そこにこめられた祈りの諸相を解明し、あわせてその途上に浮かび上がる玄奘・道昭・法蓮などの偉大な僧の信仰と人間像に迫る。虚空蔵寺跡の調査に携わった著者が学際的に探った一書。

▶A5判・口絵1頁 本文320頁／本体5,700円 ISBN978-4-7842-1433-4

※王権と都市

今谷明編

国際日本文化研究センターでの研究の集大成として編者が組織した共同研究「王権と都市に関する比較史的研究」の成果。王権と都市の関連を検討する研究はイブン＝ハルドゥーンの問題提起以来、一部の例外を除けば理論的発展を欠き、地域的に偏りもあった。日本、アジア・イスラーム、ヨーロッパの3領域から11篇の論文を収め、各時代・各地域での都市史のあり方を相互に比較検討し、「都市とは何か」という命題の解明に挑んだ一書。

▶A5判・372頁／本体6,800円 ISBN978-4-7842-1396-2

※大津京跡の研究

林博通著

天智天皇造営の大津宮の所在地については多くの学説と論争があったが、1974年の著者による遺構発見以後、数十カ所の発掘が行われ、構造復原の作業が進められた。永年にわたる大津京論争に決着をつける、初の包括的な研究集成。口絵および本文収録図版182点。

▶B5判・280頁／本体8,800円 ISBN4-7842-1073-3

文学のなかの考古学 佛教大学鷹陵文化叢書19

門田誠一著

文学と考古学との接点を求めることは方法の異質性からこれまで行われてこなかった。本書は考古学の分野を研究する著者が小説や古典芸能などに描写された考古学的要素やそれらの背景となった歴史のあるいは文化的な背景について考古学的に接近を試みる。小説や随筆、詩、俳句、川柳、そして古典のようないわゆる文学だけでなく古典芸能や民話、民謡なども広義の文学として取り扱い文学と考古学の間に生まれる新たな可能性を提示する。図版多数。

▶A5判・380頁／本体2,300円 ISBN978-4-7842-1430-3

宣教と受容 明治期キリスト教の基礎的研究中村

博武著

日本におけるキリスト教の宣教と受容を新資料の検証を通して解明した力作。経典成立史、新造語の成立経緯などの原理的な問題から、浦上信徒総流罪に対する長崎外国人居留地の英字新聞や宣教師の書簡の解明、さらには上海租界地の宣教、内村鑑三と英字新聞の論争などを通して西洋文明が東アジアに与えた衝撃の一端を明かす。

▶A5判・610頁／本体12,000円 ISBN4-7842-1025-3

※蓬萊山と扶桑樹 日本文化の古層の探究

岡本健一著

中国伝来の神仙思想のうち、不老長生の仙境「蓬萊山」のイメージと、生命更新の仙木「扶桑樹」のシンボルが、日本の古代文化におよぼした影響の諸相を、歴史考古学的に明らかにする。「蓬萊山」と「扶桑樹」は古墳時代を解き明かすうえで二大キーワードであるはずが、なぜか古代史や考古学の分野では、長らく見過ごされてきた。20年前より「前方後円墳＝蓬萊山起源」説を提唱してきた著者の研究集大成。

▶A5判・442頁／本体5,500円 ISBN978-4-7842-1400-6

日本古代都市史研究 古代王権の展開と変容

堀内明博著

永年、平安京などの都市遺跡発掘調査に携わった著者の研究成果。長岡京の東宮と左京東院、平安京の条坊と市・町の形態、宅地と建物配置などの王朝都市から、白河・鳥羽殿、源氏・平氏の館などの中世前期都市まで、都城の展開と変容過程を時系列的に分析し、古代王権のあり方を考古学の成果を踏まえて解明した一書。掲載図版多数。

▶B5判・514頁／本体15,000円

ISBN978-4-7842-1457-0

古文化財の科学

山崎一雄著

古文化財の科学的研究の第一人者による45年余にわたる成果をまとめる。正倉院宝物の調査、装飾古墳・高松塚・法隆寺金堂壁画・栄山寺八角堂・醍醐寺五重の塔・源氏物語絵巻などの顔料分析、正倉院の陶器・ガラスや緑釉陶などの科学分析、および銅鏡・銅鐸・青銅器などの成分分析に関する諸報告を収録。

▶A5判・380頁／本体6,300円

ISBN4-7842-0482-2

※戦国大名の外交と都市・流通

鹿毛敏夫著

豊後大友氏と東アジア世界

思文閣史学叢書

西日本の戦国大名のアジア外交の実態とそこに潜む意識構造について解明するとともに政治・経済・文化的にアジア諸国と緊密な関係にあった西国大名による都市・流通政策の実態を明らかにする。

【内容】中世都市の構造と特質／大名権力の流通政策／大名権力の対外交渉

▶A5判・300頁／本体5,500円

ISBN4-7842-1286-8

※岩倉使節団における宗教問題

山崎渾子著

神道皇国主義を宣言しキリスト教禁制のまま諸国歴訪に出かけることになった岩倉使節団は、その後の明治政府の宗教政策にどのような影響を与えたのか、『米欧回覧実記』を中心とした使節団関係史料を読み込むことで検証する。

▶A5判・250頁／本体3,800円

ISBN4-7842-1316-3

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。